

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現 状 ( D O )	事務事業名	No. 550508	高齢者世話付住宅生活援助員派遣等事業				主管課名	高齢福祉課		
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	深谷 幸広		
		施策	みんなで助け合える福祉のまち							
		基本事業	高齢者に安全・安心な地域社会の推進							
	(1)事業の概要									
	高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）に居住する人に対し、緊急通報用機器を貸与し、緊急時の対応を行うとともに、生活援助員を派遣することにより、居住者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう支援する。 [対象] ・65歳以上の夫婦のみ世帯（配偶者は60歳以上） ・65歳以上の親族からなる二世帯（同居者は60歳以上） ・65歳以上の単身世帯						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)			
							名 称		単 位	
							生活援助員が訪問、電話した回数		回	
							その指標			
	(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）の入所者のひとり暮らし高齢者または、高齢者夫婦世帯に対し、緊急通報用機器を貸与し、緊急時の対応を行うとともに、生活援助員が日常生活の援助・安否確認を行い、安心して生活できるよう支援する。							
24年度計画	前年と同様 変更あり	▼		変更内容						
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)				
65歳以上のひとり暮らしの人または夫婦世帯のみの人						名 称		単 位		
						シルバーハウジングの入居者数		人		
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)				
高齢者世話付住宅生活援助員の利用申請をする						名 称		単 位		
						サービス利用の申請をした世帯		世帯		
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)				
安心して住み慣れた地域で生活してもらう						名 称		単 位		
						サービスを利用した高齢者の数		人		
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値		
(5)の活動指標		回	9,042	7,028	7,100	7,100	7,100	7,100		
(6)の対象指標		人	78	67	67	67	67	67		
(7)の成果指標		世帯	50	50	50	50	50	50		
(8)の結果の成果指標		人	78	67	67	67	67	67		
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	01 目 06
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値		
事業費(決算又は予算額)		単位	5,134	5,144	5,488	5,488	5,488	5,488		
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	5,134	5,144	5,488	5,488	5,488	5,488	
人件費 B		千円	886	1,090	1,090	1,090	1,090	1,090		
正職員従事時間×人数		時間×人	60×4	290×1	290×1	290×1	290×1	290×1		
正職員以外の人件費		千円								
その他費用 C		千円	5							
トータルコスト A+B+C		千円	6,025	6,234	6,578	6,578	6,578	6,578		
単位あたりコスト		千円/人	77	93	98	98	98	98		
(トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/								

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	550508 高齢者世話付住宅生活援助員派遣等事業			
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		
	平成13年			から		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			入居者の高齢化に伴い、近隣住民での協力者の確保が困難な状況になっている。また、入居者は高齢のため、機器やシステムへの理解度が低く、誤報等が発生する。 また、本事業開始当初から使用している緊急通報機器が老朽化に伴い故障が多く、交換する備品の購入が必要となっている。		
国、県の補助制度として開始						
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？						
変化していない		変化している		高齢者数の増加、入居者の高齢化		

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	みよし市高齢者世話付住宅生活援助員派遣等事業実施要綱 居住者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるようにするため
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく → 結びつかない →	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容		
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい → 多少影響がある → 影響はない →	理由又は内容	
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容	入居者がシステムへの仕様、操作の理解を深め誤報を減少させ緊急時の対応を迅速にし、生活援助員の対応時間を増加させる。
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない	内容	
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない	内容	
	公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大                      改善                      現状維持                      縮小                      統合                      廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性      維持      事業費の方向性      維持      成果の方向性      維持
		生活援助員が入居者の援助を行い、今後も継続して事業を実施する。